

地域に飛び出す市民国際プラザ!

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等による連携相談を行っています。更に、各地の先進的な活動を実際に取材したり、情報収集を行い、本ダイジェストでご紹介しています。

○Let's study BOSAI ~地域国際化協会と放送局の連携による先進的な取り組み~

「やさしい日本語」で学ぶ、外国人住民のための防災ワークショップ

日時：2018年3月22日 場所：(公財)和歌山県国際交流センター(和歌山県和歌山市)

和歌山県では、南海トラフ地震等への備えの一環として、2014年より毎年NHK和歌山放送局と和歌山県国際交流センター主催による、県内在住の外国人を対象とした防災ワークショップ「Let's Study BOSAI」が行われています。

地震や津波、台風などの災害について学び、備えるための画期的なこの取組は、NHK和歌山放送局と和歌山県国際交流センターが共同で作成した4言語（やさしい日本語、中国語、英語、フィリピン語）で作られた防災ガイドを用いながら、「やさしい日本語」で行われ、様々なクイズを巻き込みながら更に進化しています。

2017年は和歌山地方気象台が、台風・地震の仕組みや注意点の解説をし、NHKからは、災害発生時に、放送やホームページなどから必要な情報を入手する方法の紹介をしています。

「台風」や「地震」の経験も無い外国人の方も多く、各自然災害についての説明や、テレビで災害情報が流れる際の画面の、天気図の見方など、日本人にとっては防災の前提となる知識を、外国人住民の方に身につけてもらう多面的で効果的な研修会となっています。

参加者の確保が課題となっていました。和歌山県国際交流センターが主催する日本語教室の特別授業として組み込み、テレホンカードや防災グッズ等のお土産をつける工夫をしているとのことでした。

2018年度は防災啓発DVDを製作を予定しているとのこと、防災への取り組みが更に進んでいます。なお、映像資料作成については(一財)自治体国際化協会(クリア多文化共生のまちづくり促進事業)から助成を受けています。

地域国際化協会と放送局の連携による先進的取り組みが、ぜひ、全国にも広まることを願っています。



4言語による防災ガイド



○大阪府国際交流財団 (OFIX) ~外国人への多言語支援体制強化の取組~

日時：2018年3月21日 場所：(公財)大阪府国際交流財団(大阪府大阪市)

大阪府国際交流財団(以下、OFIX)では「災害時外国人支援体制の強化」を主要事業に掲げ、来阪外国人観光客の急増や、外国人労働者の増加や在留機関の長期化等に伴う多言語支援ニーズ増大に対応すべく多言語支援体制、災害時の多言語支援体制の一層の整備を推進されています。

災害対策として「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」を5言語(英、中、韓、越、比)で作成しており、ガイドの前半は災害時のボランティア研修用テキストとして、後半は在留外国人向けの防災ガイドとなっています。OFIXウェブサイトでも無料ダウンロードが可能で、府下の市町村の防災ガイド作成のモデル版としても機能しています。

『災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド』後半は、在住外国人向け防災ガイドになっています

また、大阪府と協定を締結し「大阪府災害時多言語センター」を設置・運営、災害時に府から提供される情報をSNS等で多言語発信する計画の他、マニュアルの整備、近畿地域国際化協会連絡協議会と共催で実施訓練もしています。

災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度も設け、18言語、190名弱の登録があるとのこと。更にCares-Osaka大学企業等とコンソーシアムの活動の一環として、留学生のための総合防災訓練や留学生が在籍する大学や専門学校の留学生担当者を対象に災害時の活動経験についての講義や防災ワークショップを実施しています。

災害時通訳・翻訳ボランティアの更なる確保や、「支援する側」としての外国人を対象とした取組への課題もあるとのことですが、OFIXは平成30年からの中期経営計画も策定し、多言語支援体制、災害時の多言語支援体制の一層の強化が期待されます。

○「アイハウス de 多文化体験」～多文化共生推進の主役は外国人住民～

日時：2018年3月21日 場所：(公財)大阪国際交流センター（大阪府）



大阪国際交流センターでは2014年に「外国人コミティ連絡事業委員会」を立ち上げ、国際交流イベントの円滑な運営や情報データベースとして運用を目指すプラットフォームの実用化等に向けて議論を行い、さらに当事者である外国人やNPO、行政等の有識者による問題提起を受けて、地域に暮らす外国人を中心とした「アイハウス※外国人コミティ」を立ち上げ、留学生や外国人住民や地域住民が担い手となる「外国人コミュニティ事業」をスタートしました。

そのひとつが「アイハウスde多文化体験」外国人住民による文化紹介による交流事業です。（※アイハウス：大阪国際交流センター）

平成27年の初回は英会話学校の教室を借りて小規模に実施し、翌年からは大阪国際交流センターを会場に、外国人住民による料理教室、歌やゲームの紹介、文化紹介、プレゼンテーション、言葉、ダンスなどを紹介し一般の方と交流をおこないました。人気の講座は抽選になるなど盛況となっている本イベントは、楽しく相互交流、相互理解を深めるだけでなく、日本に溶け込めない外国籍の高校生がアイハウスde多文化体験に講師として参加することで、活動の場を見出し、自己肯定感を育む機会にもなっているとのことでした。

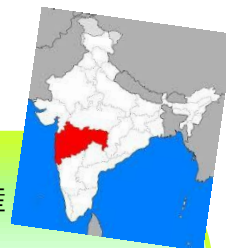
更に、2回目からは外国人に対して日本人のサポートボランティアをマッチングし、共に準備する方式を採ることで、きめ細かいサポートの元、イベントも円滑に行われ、更に外国人住民とボランティアの関係性がイベント後も続くなどよい循環になっているとのことでした。今後は単発イベントとしてだけでなく、講師として参加しているメンバーそれぞれが継続的に取り組める活動につながることも期待されています。

大阪国際交流センターでは「アイハウス外国人コミティ会議」も設置し、外国人住民が主体的に活動するための会議体として機能しています。メンバーの固定化の課題などもあるとのことですが、活動が継続されるには、「楽しい」こと、そして「参加する場、活動の場があること」がとても重要とのことでした。外国人住民が多言語で情報発信をする場などの構想も検討されており、「アイハウス」での先進的な取り組みはこれからも続きます。

○ 和歌山県とマハラシュトラ州（インド）の友好関係から国際協力へ

～「観光おもてなし」事業、そして「世界遺産地域次世代育成支援事業」へ～

日時：2018年3月22日 場所：和歌山県庁国際化



平成25年当時の在大阪インド総領事による和歌山県知事表敬訪問をきっかけに、和歌山県はインドのマハラシュトラ州との関係を深めています。同年には覚書が締結され、翌年には和歌山県世界遺産センターとアジャンタ・ビジターセンター(AVC)の交流及び相互の情報発信についての協定が締結され、マハラシュトラ州オーンガバード派遣した和歌山県職員に対してマハラシュトラ州観光公社(MTDC)の一室が事務所として提供されるなど相互交流が進んでいます。この協定の具体的な取り組みとして、それぞれの施設で相手の世界遺産情報を展示すること、JICA草の根技術協力事業を活用し、和歌山県とマハラシュトラ州観光公社(MTDC)によるインド・マハラシュトラ州における「観光おもてなし」支援事業が実施されました。

マハラシュトラ州では長年に渡るJICAの支援が行われており、その一環としてアジャンタビジターセンター(AVC)も設立されハード面では整備されたものの、その門が閉まり活用されない、スタッフの接客マナー等のソフト面での課題もあり、それを受けての取組だったとのことでした。

具体的には、日本のおもてなし、接客や施設面での配慮や周辺環境の大切さを伝えるため、和歌山でのおもてなし事例なども紹介しながらリーダー格となる人材の養成をしました。「観光おもてなし」事業では、MTDC職員と地域住民が世界遺産の保全の意義とやり方について理解し、協働イベントを実施する中で、県として、その目標達成には行政関係者だけでなく地域の学校の生徒及び教員等の地域住民が世界遺産の保全について理解する必要性があることを認識しました。

マハラシュトラ州にはアジャンタ石窟群、エロー石窟群といった世界遺産があるものの、現地では世界遺産の保全という意識が希薄であるため、周辺環境が汚染されている状況への危惧もあり、それが「世界遺産次世代育成支援事業」として実現し、(一財)自治体国際化協会自治体国際協力促進事業「クリアモデル事業」に採択され、取組が続いています。来日研修には世界遺産保全について学ぶだけでなく、和歌山県の青少年との交流の機会となるメリットもあり、複合的な効果を生んでいることが伺えます。



和歌山県ではマハラシュトラ州との覚書締結を皮切りに、観光面での協力関係、そしてマハラシュトラ州への国際協力につながり、それが相互交流の機会にもなっています。そして更に、ビジネスにも結びついているとのこと、相互交流、相互理解による関係の深化が、支援につながり、更に経済的な関係強化というよい循環につながっている先進事例の一つとして今後にも期待がかかります！



～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします！



(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp